

1 日本語教育

「話す・聞く」等の様々なとりくみの中で、伝えあう力をつけるため、「書く」ことと結びつけ討議。

「日本語教育は、国語の授業だけでなく、あらゆる分野で育てていくべきだと改めて感じた」(教諭)

2 外国語教育

発信と受信 (audio と speaking) 「コミュニケーション」は総合的な能力を示すもの。英語は教師と生徒の関係づくりの根底部分を担う。

「子どもたちが英語を楽しく学習するために、またカタカナ発音にならないように、各校カリキュラムを工夫し実践していることが分かった」(教諭)

3 社会科教育

子どもたちが、実生活の中にあるものを分析する力を育むための、社会に根ざした授業実践など。

「具体的な手だてを開発していく姿を知ることができた」「中学校の実践リポートをもっと知りたい」(教諭)

4 算数・数学教育

新学習指導要領に対するとりくみやデジタル化の中で、量と測定の必要性を子どもに感じさせる。

「ICTの実践例を知ることができ、今後いかしてきたい」「どのように学ばせていけばいいか、具体的活動とリンクさせていきたい」(教諭)

5 理科教育

疑問を持つことから始まる。身近な事象、物事を観察・実験することで、基礎・基本が身に付く。

「疑問の発想を大切に、理科は物事の考え方を学ぶ、科学的なものの考えであることが分かった」(教諭)

6 美術教育

基本的な表現力を保障する授業の組み立てや子どもの順序性や地域に根ざした題材の教材化など。

「子どもが自由に発想できる環境、個々を育てる実践を感じた」「子どもの心を育てることが出来る美術教育の可能性を知った」(教諭)



7 音楽教育

生涯を通じて音楽好きの子の育成や日本の音楽との出会い、変声期の歌唱指導などを討議。

「授業の中で、子どもの思いを生かしてどのように指導するか参考になった」(教諭)「様々な体験や指導法を参考に今後とりくみたい」(教諭)

8 技術・家庭科教育

技術の様々な教材の開発や、家庭科教育の中の「食育」へのとりくみなど討議。

「ネットでの買い物や情報を使う方、情報が出てくるまでのルートなど指導する必要がある」「PC授業は多く取り入れたいが、子どもの数で使用制限があるのが課題」(教諭)

9 保健・体育

保健と体育の合同での討議をはじめ、心と体の健康をめざすとりくみ。

「心と体が一体となる健康教育の実践をやってみようと思った」(教諭)「養護

教諭が関わっていく方法を学び、アイデアもいただいた」(教諭)

体育

「担任と養護教諭の連携の大切さを感じた」(教諭)「養護教諭も、もっとクラスに入っていかなければと思った」(教諭)

10 総合学習

総合学習を通して、地域や子どもの変容がみられたかをリポートをもとに討議。

「学校でのとりくみをオープンスクール等で、地域の方々に知らせる必要がある」「子どもたちがあいさつや地域活動にすすんで参加することで、地域の活性化に繋がっている」(教諭)

11 自治的諸活動と生活指導

小・中合同と、それぞれに分かれて、地域との交流・連携の進め方や生活指導のとりくみなどを討議。

「いつもは保護者で学校に参加している。いろいろな活動を工夫し考えぬいてきていることも知ることができた。また、スクールカウンセラーの助言も含め、私自身、大変勉強になった」(一般)「生活指導の根本を改めて考えさせられた」(教職員)



12 幼年期の教育と保育問題

異校種間の相互理解を深め、よりよい交流や連携の継続を討議。

「普段聞けない都市、地方の小学校、幼稚園の話が

聞け、刺激的で良い勉強になった」(保育士)

13 人権教育

差別の現実や解放学級、保護者・地域との協働のとりくみなどを討議。

「道徳・人権教育の方向性のもやもやが少し晴れた」「子どもたちとのように関わり、どのように感じたかなど、先生自身が人権教育にとりくむリポートも望む」(一般)

14 障害児教育

「特別支援教育」のあり方

「性教育と性の教育の違いが明確になった。子どもたちを加害者にも被害者にもさせないとりくみを人権教育の一つとして考えていく」(教諭)「男性リポーターが少ないのが残念。男性の権利を守るためにも参加してほしい」(共同研究者)

15 国際連帯の教育

多文化共生教育を通して、子どもたちに学ばせたいものや、民族差別解消に向けてのとりくみを討議。

「各リポートの技術論に基づくカリキュラム編成・展開の緻密さに感心するとともに、その努力に安心感

も覚えた」(一般)「ブラジル訪問や在日の方々の話を聞け有意義だった。民間の実践海外活動と教室での教育をどう結びつけるかが課題」(一般)

16 男女共生教育

労働・家庭での意識・習慣の見直しや、中学校・保護者・地域の連携したとりくみを討議

「性教育と性の教育の違いが明確になった。子どもたちを加害者にも被害者にもさせないとりくみを人権教育の一つとして考えていく」(教諭)「男性リポーターが少ないのが残念。男性の権利を守るためにも参加してほしい」(共同研究者)

17 環境・公害・食教育

学校給食を通して、家庭・地域社会が連携した食育推進と、身近な環境から循環型社会の創造を討議。

「いろいろな活動で、子どもがどのように変化していったかを知りたい」(一般)「これらの社会を担う子どもたちを見つめながら、環境教育や食教育にとりくんでいきたい」(教諭)

18 平和教育

人権教育と平和教育との関連や戦争の加害と被害の捉え方などを討議。

「ヒロシマ・ナガサキだけでなく、韓国、中国に対しての加害意識も伝えていきたい」(教諭)「自分の身近にあるものや資料館の扱い方、若い先生への研修が必要ではないかと感じた」(教諭)

19 情報社会と教育

情報社会に生きる子どもたちに求められている力とは何か。情報モラルと図書館教育の領域から討議。

「情報機器の具体的な活用例や情報モラルの必要性など意見交換できた」「子どもたちの現状を知ること、顔が見える情報のやり取りが、授業や図書を含めた調べ物学習でより重要になると感じた」(教諭)

20 評価・選抜制度と進路保障

希望する生徒への高校教育の保障を。子ども一人ひとりの評価を生かした兵庫方式堅持へのとりくみを討議。

「保護者に評価の基準を説明し、評価については、研修をしていく必要がある」(教諭)「社会に出て通う子に育ててもらいたい、その子のためになる評価をしてもらいたい」(保護者)

21 教育課程

学校全体としての教育課程の編成体制づくりと、新学習指導要領への学校対応などを討議。

「小中の連携では、トップダウンではなくボトムアップの重要性を訴えなければならぬと感じた」「義務教育9年間を見通した連携が大切だと思う」(教諭)

22 学校・地域における教育改革運動

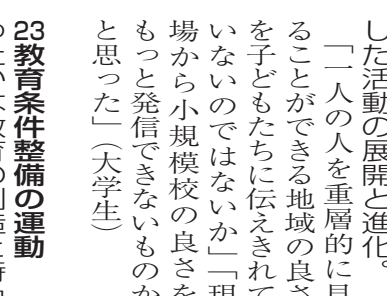
子どもの人権を大切にし、子どもを中心にすえた教育改革を、子ども・保護者や地域の人々どう連携をと

り進めるかを討議。「自分の子どもを守るには、保護者と学校が互いに支えあっていることが可能なのだと痛感している」(一般)「学校の敷居が高い」という保護者の率直な意見が聞け良かった」(教諭)

23 教育条件整備の運動

ゆたかな教育の創造と特色ある学校づくりを推進するための教育予算・人的配置、学校施設・設備の拡充や、学校・保護者・地域が連携した子どもたちの安心・安全を守る教育条件整備の進め方を討議

「各学校の規模や実態に応じたとりくみや工夫がされておき、大いに参考になった」(事務職員)「学校は地域コミュニティの拠点という視点の必要性が分かった」(教職員)



「各学校の規模や実態に応じたとりくみや工夫がされておき、大いに参考になった」(事務職員)「学校は地域コミュニティの拠点という視点の必要性が分かった」(教職員)

兵庫県学校厚生会 冬のボーナス振込募集

創立40周年記念定期

振込 でお預けいれいただくと

1年もの限定 (止ませ利率0.2%)

年利率
1年もの **0.90%**
(税引後年利率0.72%)

通常利率 0.70% (税引後年利率0.56%)

先が楽しみな高利率！計画的に預けて、しっかり預金

定期預金コース 通常利率

年利率
1年もの **0.70%**
(税引後年利率0.56%)

年利率
2年もの **0.80%**
(税引後年利率0.64%)

年利率
3年もの **0.90%**
(税引後年利率0.72%)

年利率
5年もの **1.10%**
(税引後年利率0.88%)

いつでも自由に払い戻し可能！無理せず貯まる、うれしい積立

臨時積立コース

変動金利 半年複利
年利率 **0.50%**
(税引後年利率0.40%)



預金に関するお問い合わせは、支部事務所又は信用共済部まで

創立40周年記念定期キャンペーン振込期間：2008年12月1日～2009年1月7日まで

※キャンペーン期間中に満期を迎え、自動継続となる定期預金及び積立預金から定期預金への振替え、定期預金（1年もの）への預け替え、現金との合算による継続定期預金は対象となります。
※記念定期利率の適用は初回満期日までとなります。（ご継続後は、継続時の通常利率を適用いたします。）

(財)兵庫県学校厚生会 信用共済部 TEL (078)331-9974 (直通)
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4丁目7-34 <https://www.kouseikai.jp>